



2026/5/1 厚生館保育園

新緑が目鮮やかで、お出かけにもよい季節になってきました。新入、進級から1ヵ月がたち、はじめは聞こえていた泣き声も少なくなり、笑顔が見られるようになってきています。

今年のゴールデンウィークは、旅行などの楽しいことがたくさんあると思いますが、目一杯遊んだあとは、おうちの方とゆっくり過ごすようにしましょう。連休明けには元気な顔を見せてくださいね♡

4月の感染症

感染症と名の付く病気の発生はありませんでしたが、慣れ保育の疲れや季節の変わり目もあり、発熱するお子さんが多かったようです。

そろそろ夏服の準備をしましょう



《時に肌着+半袖Tシャツ+半ズボン》

暑いときは、肌着を脱いでTシャツ1枚でOKです。気温に合わせて衣服の調節をしましょう。Tシャツを肌着の代わりに着ているお子さんがいますが、繊維の質が違うので本来の肌着の目的を果たしていません。

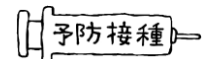
肌着の役割

吸湿性：汗を吸い取り体が冷えるのを防ぐ。

通気性：皮膚と肌着の空気の状態を一定に保つので、皮膚の体温調節ができる。

保温性：肌着と上着の間に温かい層をつくり、冬なら4℃暖かくなる。

予防接種の時期を逃してはいませんか？



保育園は、集団で生活を共にする場であり、子どもたちを病気にかかりやすい環境に入れることとなります。特に乳幼児は抵抗力（免疫）が弱く、感染症に感染すると、時に生命を脅かすことにもなりかねません。多くの合併症、後遺症を起こす危険にさらされないためにも予防接種を実施することを、お勧めします。

1才の誕生日後、就学前の2回MR(麻疹・風疹)ワクチンを受けることができます。このワクチンを怠ってしい、麻疹(はしか)や風疹に罹ってしまったら、麻疹の場合は合併症として、肺炎や脳炎があり、また、数年から十数年の潜伏感染の後に脳炎を発症し、致命的な経過をたどることがあります。風疹の場合でも合併症として、脳炎や特発性血小板減少性紫斑病(血小板が壊れて、血が止まりにくくなる)などがあり、妊婦に感染すると、胎児に白内障や難聴、心臓奇形が生じることがあります。今はおたふくかぜのワクチン以外が義務になっていますので必ず受けるようにしましょう。任意のおたふくかぜのワクチンについても、2024年度4月1日より、おたふくかぜワクチンの費用一部の助成が開始されました。助成額は1回あたり¥3000(1人当たり最大2回まで)助成されますので、受けることをお勧めします。

・・・4月に手洗いの話と実践をしました・・・

おひさま組のエア―手洗い、もも組は手洗いチェッカーで、ローションとブラックライトを使い、手が汚れて、ばい菌見えるか現象を作り、人数を7名、6名、6名と分け3日間にわたって実践しました。1回の手洗いできれいにならなかった子は、3人4人くらいで、ほとんどの子が上手に洗うことができていました。

ご家庭でも、外出先から帰った後、食事の前、トイレの後にきちんと手が洗えているか、チェックしてみましよう。子ども達は楽しんで手を洗っていました(笑)

5月保健行事

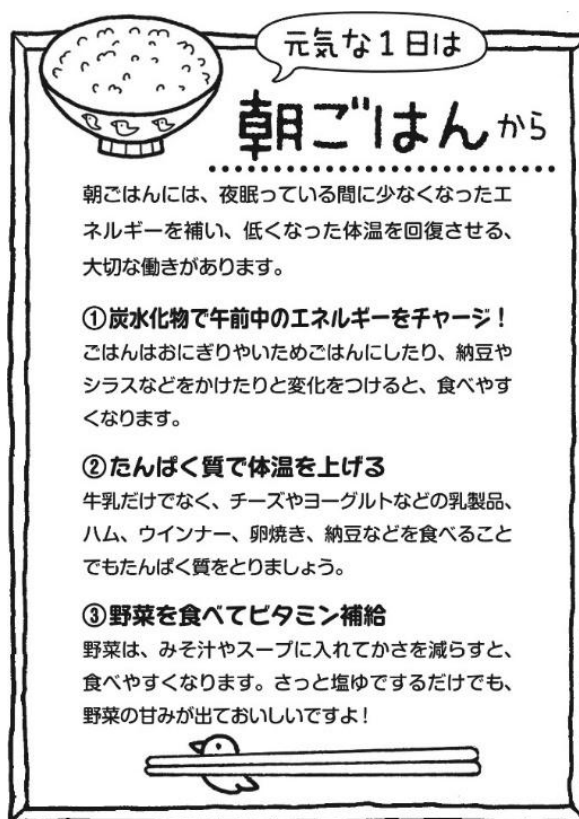
12日(火) 身体測定(2~5才児)

13日(水) 身体測定(0.1才児)

18日(月) 0才児健診

地域ベビーマッサージ・育児相談

8日・15日・22日(金)に開催します



※麻疹ウイルスが、国外で感染し日本で発症、今は全国各地で感染が広がっています！！ワクチンを2回受けていない大人も感染の可能性がありますので、必ずワクチンを受けるようお願いします。1972年～1990年生まれの方が対象ですが、終生免疫があるか否かなので、抗体検査が必要になります。(空気感染なので、同じ室内にいただけで感染します、インフルエンザ以上の感染力です)